

うふな〜号

〜通信〜

令和2年度に那覇市社会福祉協議会にて『日常生活における移動手段に関するアンケート』を実施したところ、移動に困っているという方の回答が多かった地域が、首里大名町1丁目でした。実際に、首里大名町1丁目は、市内に点在する公共交通不便地域となっており、高齢者の移動支援に対する取り組みができないか、何度も大名第二団地自治会と話し合いを重ねて参りました。

また、話し合いが行われる前の年に、近隣にあったナカハラストアの閉店がニュースとなりました。移動手段のない住民の方々にとって、さらに買い物店舗への移動や食生活への課題が深まったことが話し合いの中で挙げられました。その他にも免許返納問題など、様々な地域の抱える心配事がみえてきました。

移動支援に向けて話し合いが進む中で、移動支援の保険に関して相談を行っていた損害保険ジャパン株式会社のご協力のもと、株式会社OTM、株式会社トヨタレンタリース沖縄と繋いでいただき、TOYOTA SHARE(トヨタ シェア)カーを試験的实施期間中(12/2~5/26)に無償で提供していただく運びとなりましたが、シェアカーの置き場所が見つからず、大名小学校区まちづくり協議会にてご相談した所、若杉福社会の屋

宜さんより早く、大名児童館への設置をご提案いただきました。

屋宜さんには、運転ボランティアとしてもご協力いただけることとなりました。

心より感謝いたします。

